

“楽しさを通じた高齢者の生きがいづくりモデル”の概要

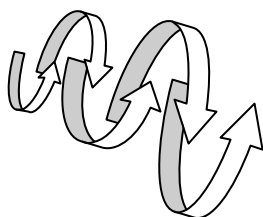
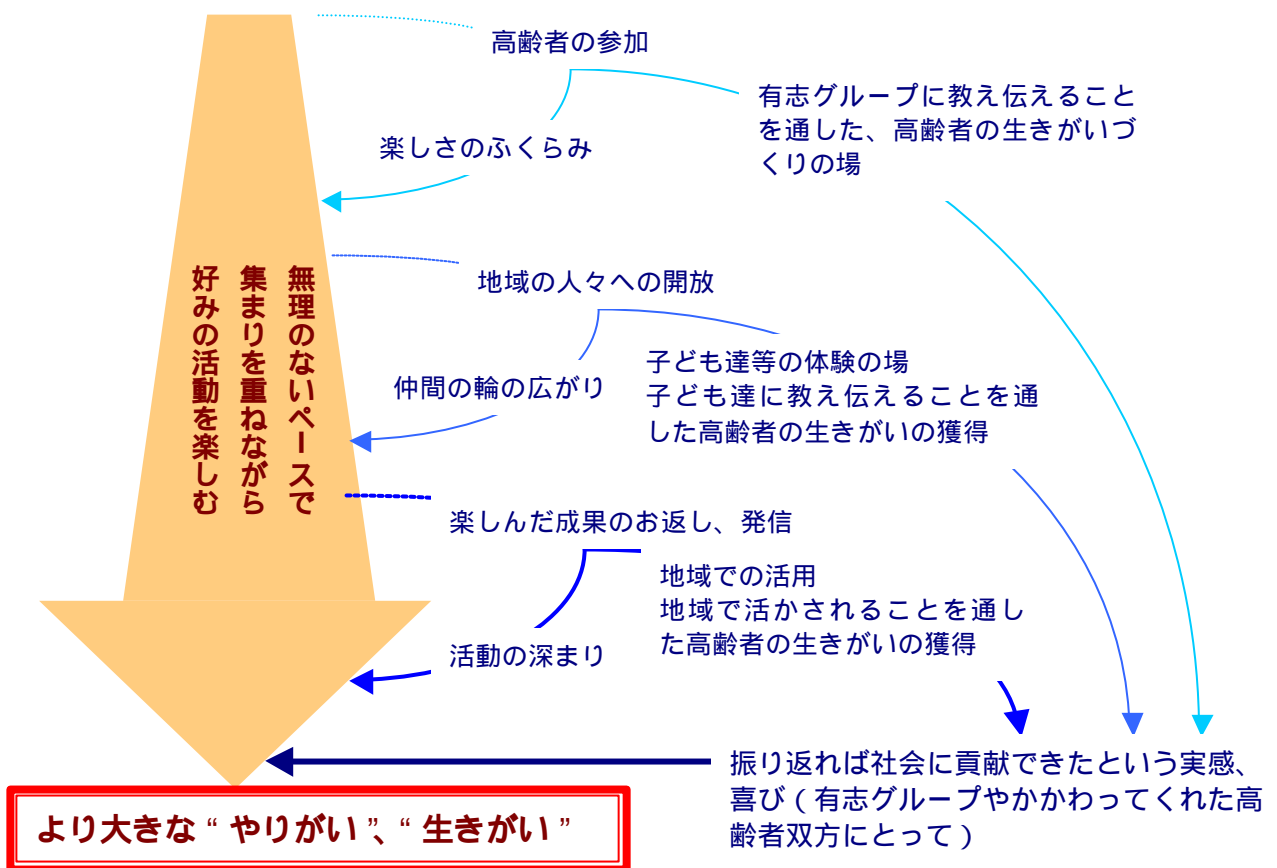
本モデルの特徴は、子育て中の世代や高齢期が見えてきた中高年層、あるいは高齢者自身など、有志がグループをつくり、自らも楽しみ高齢者にとっては生きがいづくりの機会となる余暇活動（遊び）の場を創造するところにあります。これは、次のような考え方を柱に、「楽しく、無理なく、できる範囲で」その人、その土地などにあわせて自由自在に取り組み、楽しさを基盤に社会（地域）にも貢献してしまう新しい遊びのスタイルです。

気のあった仲間という小さなグループではじめの一步を踏み出し

メンバー自身が好みの活動を楽しむことを大切にしながら、継続的に集いを重ね
 その中で、参加してもらった地域の高齢者に学びながら、楽しさをふくらませ
 無理のない範囲で、集いの場を地域の人々に開放し、共に楽しむ仲間の輪を広げ
 折に触れて活動の成果を地域にお返し、活用してもらう。

そして、振り返れば社会に貢献したという実感を通して、より大きなやりがい・
 生きがいを得る。

気のあった仲間が集まった小さなグループ



「楽しく、無理なく、できる範囲で」楽しみながらも共に楽しむ仲間、
 地域からの理解が広がり
 活動そのものの楽しさがふくらんでいく
 高齡者の生きがいづくりや社会に貢献できることもふくらんでいく